

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 235

政策体系	14	事業分類	ソフト事業	所管部局	
会計	一般会計	科目	3. 民生費 - 1. 社会福 - 4. 高齢者 現年		
事業名	高齢者福祉サービス事業				
細事業名	福祉電話事業				
評価表作成者				市民福祉部 高齢福祉課	八木 裕也

## 1. 事業の概要

おおむね65歳以上の低所得のひとり暮らし高齢者等で、安否確認を行う必要がある方に対し、市所有の電話回線は無償貸与する。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

安否確認の必要なひとり暮らし高齢者等の安心した在宅生活の支援を行う。

### ② 事業を実施する必要性

ひとり暮らし高齢者等の安否確認、各種相談及び緊急連絡等の手段を確保するために必要な事業である。

## 3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	124	124	95	79	131	120	120
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	29	6	43	26	42	36
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	95	118	53	53	89	84
職員等の従事人員	人/年	—	0.22	0.05	0.02			
人件費	千円	—	1,547	312	129			
事業費総額	千円	—	1,671	407	208			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

福祉電話使用料	79,265円（扶助費）
取付・取外し手数料	なし

## 5. 事業結果の概要

利用件数	2件
------	----

## 6. 活動の詳細

### 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

ひとり暮らし高齢者等の安否確認のために必要な事業であり、市所有の電話回線の無償貸与を継続した。今後も必要に応じて、緊急連絡手段の確保を図るため、事業を実施する。

#### 【参考】過年度の評価

##### ■平成22年度の所属長評価

ひとり暮らし、または高齢者世帯で安否確認を行なう手段として必要がある方に対し、市所有の電話回線を無償貸与した。今後も必要に応じて、緊急連絡手段の確保を図るため事業の実施を行なう。

##### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
独居の高齢者に安否確認を取る手段として支援を継続することが大切。
- ②当該事業のアピール事業  
市所有の電話を無償貸与。
- ③反省点、今後の展開・方向性  
現在4回線中2回線を貸与している。必要があれば経済的に困窮されている高齢者に貸与していく。